

西区の東久保町夢まちづくり協議会が、 「まちの防災広場」を整備しました！

また、防災まちづくり計画を更新し、新たな計画を策定しました。

■「まちの防災広場」について

老朽化した空き家を解体し、跡地を防災広場として整備しました。災害発生時は一時避難場所として、平常時は地域のコミュニティスペースとして活用します。

横浜市の「身近なまちの防災施設整備事業」を活用し、協議会、地権者、横浜市の3者が協力して実現しました。

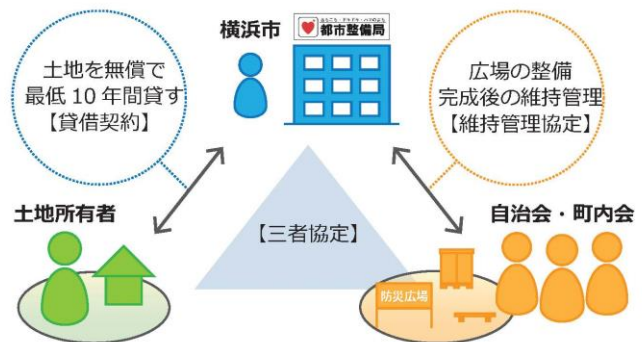
【概要】

位置：西区東久保町 157-2
面積：76.2 m²
整備内容：ダスト舗装、外周
ネットフェンス



「まちの防災広場整備事業」とは

「身近なまちの防災施設整備事業」の補助メニューの一つであるこの制度は、横浜市が地権者から土地を無償で借り受け、自治会町内会等の団体がまちの防災広場を整備して維持管理を行うことで、まちの防災性の向上及び住環境の改善やコミュニティ形成を図るものです。市は、老朽建築物の解体や広場整備に係る費用の一部を補助するほか、土地の固定資産税を非課税とします。



■新しい「東久保町防災まちづくり計画」について（令和2年12月15日認定変更）

平成17年に設立された東久保町夢まちづくり協議会は、平成19年に「東久保町防災まちづくり計画」を策定し、翌年に横浜市地域まちづくり推進条例に基づくプラン認定を受けました。これまで、雨水タンク・かまどベンチ・転落防止柵の設置、災害対策合同本部の設置、防災イベントの開催など、ハード整備からソフトの活動まで、多岐に渡る活動を展開し、成果を上げてきました。しかし、未だに解決できない課題や旧計画に記載のない取組もあることから、計画の見直しを行いました。新たな計画は、ソフト面が充実し、より実践的で長期的に取り組みやすい計画となっています。

なお、東久保町夢まちづくり協議会の活動は、広報よこはま西区版1月号でも詳しく紹介しています。

【新しい防災まちづくり計画の概要】

5本柱に項目をまとめ、ソフト対策をより充実

いえ

- ・安全・安心な家づくり

みち

- ・安全性向上のための道路整備
- ・安全な避難路の確保



まち

- ・総合的な課題街区の改善
- ・危険な崖地の安全性向上
- ・多世代が安心して居住できる環境の創出
- ・コミュニティ形成に寄与する防災広場の確保

ぼうさい

- ・防災関連施設の整備・維持・管理 新しい
- ・災害対策合同本部を中心とした防災組織の充実 新しい
- ・自主的に避難できる備えの充実 新しい
- ・災害時の避難、安否確認の対応
- ・共助・公助と連携した自助の取り組み

しくみ

- ・建築・開発時の事前協議 新しい
- ・防災まちづくりに必要な自主財源の確保



【新たに追加した主な内容】

① 防災関連施設の整備・維持・管理

これまで整備してきた防災施設や今後整備する防災施設に関して、定期的に維持管理し、有効に利用できるよう訓練を行います。

② 自主的に避難できる備えの充実

安全な避難路や避難場所、防災設備などを明記した防災マップを更新するとともに、それを活用した防災イベントを引き続き行います。

③ 建築・開発時の事前協議

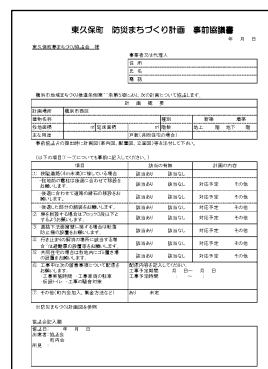
建築工事の前に事前協議を行うことで、地域とのコミュニケーションを図り、防災まちづくり計画に沿った、災害に強い、安全で安心できるまちを実現します。



①避難経路整備、避難誘導看板



②防災イベント

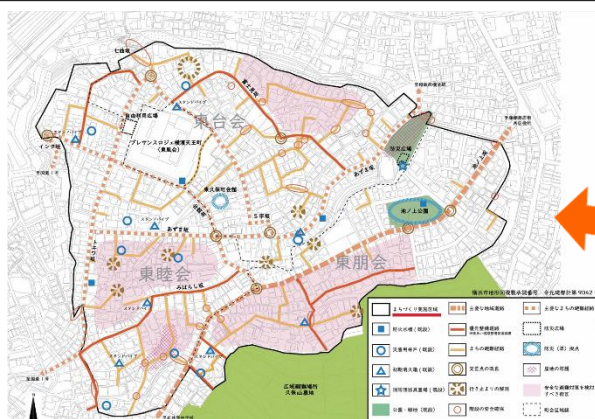


③事前協議書

【防災まちづくり計画図】

災害用井戸、初期消火箱等の既存施設のほか、優先整備道路、まちの避難経路等といった防災まちづくりの計画内容を表示しています。

今回、色や凡例を変更し、わかりやすく改良しました。



お問合せ先

【協議会活動について】	東久保町夢まちづくり協議会	会長	和田 泰次	Tel 045-241-7150
【制度全般について】	都市整備局防災まちづくり推進課長		白井 一彦	Tel 045-671-3663
【西区のまちづくりについて】	西区区政推進課長		村上 佳江	Tel 045-320-8338